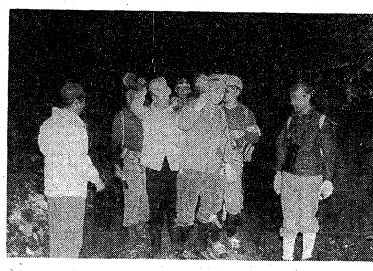
激増 妙義遭難

有料道路開通で拍車



あきれる〝ミニ姿〟登山

妙義山は「風景妙義国定公園」の周遊マイカー族の人気を集めているが、ドライブに続くそのまま山に登ったり、ハイキング気分でふらりとの無謀な登山が増加している。また、想定以上の遭難多発のため、「山用靴で同じくらい重装備の配分」「計画書を提出」など、県が呼びかけている。

妙義山は群馬県甘楽郡下仁田町、下仁田の三軍家集落を起点とする「表妙義」と、群馬県安中市の「裏妙義」に分けられるが、「表」は、「裏」に比べ、ハイキングコースが多く、「裏」は、「表」に比べ、ロープ、ハシゴ、鎖などを使用しなければならない難所が多いため、「裏」は、「表」に比べ、遭難者が多くなっている。

特に、「裏」は、「表」に比べ、ロープ、ハシゴ、鎖などを使用しなければならない難所が多いため、「裏」は、「表」に比べ、遭難者が多くなっている。

救出にうんざり

地元〝計画書義務づけを〟

[1月二十四日の遭難事故]死体をみつけて下山する救出隊員[提供]

[1月二十四日の遭難事故]死体をみつけて下山する救出隊員[提供]

[参加人数最高の時間に真剣に聞きいる多数の人たち]

[参加人数最高の時間に真剣に聞きいる多数の人たち]

[年賀はがき発売日に殺到した人たち]

[年賀はがき発売日に殺到した人たち]

[「表」の岩場を下る]

[「表」の岩場を下る]

[「裏」の岩場を下る]

[「裏」の岩場を下る]

[「裏